



# 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ 2022年9月号ブリテン

通算第134号 2022.9.26



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

## 2022—2023年度 主題 (Theme)

国際会長: (IP) K・Cサミュエル (インド) 「フェロシップとインパクトで次の100年」  
アジア太平洋地域会長: (A・P) チェン・チ・ミン (台湾) 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」  
東日本区理事: (RD) 佐藤 重良 (甲府21) 「未来に向けて今すぐ行動しよう」  
北東部長: 大久保 知宏 (宇都宮) 「クラブのミッションを育てよう」  
仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健 「活動の協働を進め、クラブの活性化を図ろう」

## 今月の聖句

『光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。』

エフェソの信徒への手紙5章9節

加藤 雄一

## 巻頭言

### 『一年の速さ』

多田 修

暑い夏が過ぎ、カレンダーを見ると間もなく10月。今年も残り3か月。この調子でいけば今年もあっという間かと思ってしまう。例え話で、三歳児にとっての一年は人生の3分の1、五十数歳の人にとっての一年は人生の50数分の1と考えれば、合点の付く話かもしれませんが、コロナ禍のここ数年は、それを差し引いても一年の速さを否応なしに感じます。



2022~2023 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	会員増強	加藤 研	ドライバー	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	E M C	布宮 圭子	ドライバー	増山 和憲
書 記	多田 修	D B C	菅野 健	メネット会長	多田 純子
会 計	多田 修	D B C	村井 伸夫	ブリテン	増山 和憲
副 会 計	本野日出子	ユース	佐藤 剛	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会計補佐	多田 純子	ユース	清水川 洋	メネット会	加藤 真紀子
監 査	高篠 伸子	YMCA サービス	門脇 秀知	メネット会	門脇 たまえ
地域奉仕	阿部 松男	YMCA サービス	佐藤 善人	担当主事	増山 和憲
C S	本野日出子				

9月第1例会 強調月間：ユース							
在籍者	14名	出席者	5名	メイキャップ	0名	出席率	35%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	6,000円		

**◆9月第2例会報告◆**  
 日 時：9月7日（水）18：30～  
 場 所：仙台YMCA立町会館  
 参加者：阿部メン、加藤研メン、加藤雄一メン、菅野メン、佐藤剛メン、加藤メネット、多田メネット、増山

◇開会点鐘から始まり、菅野会長の挨拶では、「久しぶりに顔を会わせて例会が行える喜びと共に、コロナはまだまだ油断できない状況にあるが、協議していかなくてはならないことがあるので、ポイントを絞った例会にしましょう」という言葉があった。

今年度のYMCA特別活動は、コロナ感染者数を鑑み『チャリティーラン』『バザー』は中止となるが、グッズ販売などで益金を得て、支援に繋がる働きを実施していくことが報告された。

協議を通して、今年度で2回目を迎える『留学生によるプレゼンテーション』の実施日は、11月19日（土）の午後に実施することが決定した。予算や記念品などは、次回の例会で協議していくことになった。

閉会時には、加藤副会長より『ロシアの中のアジア人』の話を受け、戦争について深く考える時間を持ち終了となった。

報告者：増山

**◆9月第1例会報告◆**  
 日 時：9月21日（水）18：30～  
 場 所：仙台YMCA立町会館  
 参加者：阿部メン、加藤研メン、加藤雄一メン、菅野メン、多田メン、加藤メネット、多田メネット、増山

◇菅野会長より「第1例会が久しぶりに開催できたこと。11月に開催される行事をかためていく例会にしたい」という挨拶があり例会が始まった。加藤研メンより、『第2回留学生によるプレゼンテーション』について、当日の流れや予算、案内について提案があり協議を行った。記念品に関しては、10月第2例会にて協議を行うことになった。11月19日（土）は、留学生によるプレゼンテーション終了後に北東部協議会が行われることも話し合われた。

今年度も、じゃがいも・かぼちゃが搬入され、国際地域協力募金の一環として販売されることや、バザー実行委員の多田メネットより、広瀬川ワイズのバザー支援について支援金をお渡しするという提案がなされた。

閉会では、多田メンより「急に寒くなってきたので体調管理に気をつけて下さい」との言葉を受けて第1例会は終了した。

報告者：増山

## 昨年度の日本語プレゼンテーション

### 【昨年度の振り返り】

昨年11月、広瀬川ワイズメンズクラブの皆様のご協力により、初めて「留学生の日本語によるプレゼンテーション」のイベントを開催することができました。国際おもてなし科は現在7期生が入学しており、まだまだ新しい学科です。しかしながら、卒業生は35名を数え、皆、国内ホテル・旅館、国外航空会社等の観光業界で活躍しております。

今回のプレゼンテーションでは、5名の学生が発表しました。皆、来日して2年から長くても3年半くらいですが、毎日過ごす中で気付いた文化の違いに伴う戸惑いや、自分の人生観など、今の素直な気持ちを日本語でスピーチしました。自分の考えや意見を、母語でない言葉で考え、文章にまとめることは、大変な作業です。自分の意図することが本当に伝わるのだろうか？この言葉で良いのだろうか？と悩む毎日でした。また、最も気をつけたのが発音の練習でした。これは、彼らにとって日々の生活の中で最も重要な課題です。何度も“話す⇒聞く”を繰り返したことが、聞き取りやすい発声に繋がり、その成果に学生達も達成感を味わったようです。

発表した5名の他、クラスメイト達も応援に駆け付け、民族舞踊を披露したり、ビデオ撮影や進行係などを積極的に行い、クラス内での連帯感も生まれました。

試行錯誤を重ねたプレゼンテーション準備の期間は、これから就職し日本で長く生活していく学生たちにとって、大変よい学びの機会になりました。

このような機会を与えてくださいました皆様に、心より感謝申し上げます。

国際おもてなし科担任 小林尚美

### 【参加した学生の感想】

スピーチの準備はとても大変でしたが、日本語の勉強になりました。

私がスピーチをしていた時、聞いている方々が、うなずいたり微笑んだりしているのが見えました。私は、自分の気持ちを伝えることができているんだと思って、プレゼンテーションの成功を感じ、大変うれしく思いました。

国際おもてなし科 グルン・シマ



**今年度は、11月19日（土）です。  
実施に向けて着々と準備を進めています。**

## YMCA通信

- ◆『YMCAチャリティーラン』『YMCAバザー』は、コロナウイルス感染者状況を鑑み、中止になりました。今後はグッズ販売などを行いながら、益金を得て支援に繋げていく働きを行います。
- ◆国際地域協力募金の実行委員会が9月12日（月）に行われました。今年も、じゃがいもやかぼちゃが北海道の十勝より届きます。毎年、大好評です。ぜひご賞味下さい。
- ◆第53回全国YMCAリーダー研修会が、9月23日（金）～25日（日）に熊本県阿蘇YMCAキャンプ場にて行われ、仙台YMCAから2名のユースボランティアリーダーが参加しました。全国のユースボランティアリーダーとの交流を通し、多くの学びを得て仙台に戻ってきました。今後の活躍に期待しています。
- ◆第34回ユースボランティアリーダーズフォーラムが、9月30日（金）～10月2日（日）に東京YMCA山中湖センターにて行われます。仙台YMCAから2名のユースボランティアリーダーが参加します。
- ◆『チャリティゴルフ』が、10月20日（木）に泉国際ゴルフ場で行われます。今年度もたくさんの方が参加する予定です。

### 10月の予定

- ◆10月 5日（水） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第2例会 18：30～
- ◆10月19日（水） 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1例会 18：30～
- ◆10月20日（木） 第25回チャリティゴルフ

#### 【編集後記】

暑かった夏も終わりを迎え、朝晩はグッと冷え込み秋の気配がします。スーパーでは、鍋の食材やスープの素が目立つところに並ぶようになってきました。読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋などありますが、今年の秋をどのように行動し楽しむか考えていきたいです。

【K・M】